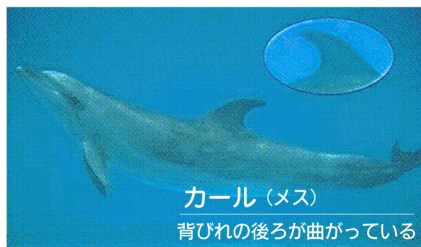




マール (メス)

背びれに三角形の切れ込みがある



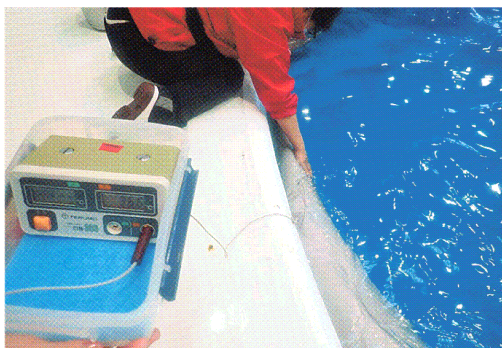
カール (メス)

背びれの後ろが曲がっている



テンテン (メス)

背びれの前が欠けている



①体重測定の様子。薬の量を決めるために体重を知ることはとても大切②イルカは肛門で体温を測定する



人間は一人一人の顔などの特徴を覚えて、人を見分けています。では飼育員は動物をどうやって見分けているのでしょうか。目立つ傷や模様などの特徴によって個体を判別しています。これを「個体識別」といいます。

ハンドウイルカは、個体識別が難しい動物です。複雑な模様はなく、水中生活をしているので、水面から見える部分が少ないからです。しかし、イルカが呼吸のために水面に上がってきた時に背びれが見えます。その周辺をじっくりと観察すると、個体ごとの違いに気がつきます。

個体識別 イルカ見分け健康管理

例えばメスのマールの背びれには、三角形の切れ込みがあります。メスのカールの背びれは、後ろ側が大きく曲がっているのが特徴です。飼育員がイルカを個体識別する理由の一つは、健康管理です。食欲や行動、排便、呼吸数、体温など、異常がないか観察して1頭ずつ飼育日誌に記録します。

人の言葉を話さないイルカの健康状態を把握するためには、飼育員の観察力がとても重要です。もし、異常がみられ病気が疑われた場合は、血液検査などをして原因を調べます。この時、個体識別ができなければ、体調が悪いイルカから採血や検査に必要なサンプルをとることができません。治療を正確に与えることもできません。

水族館でイルカの個体識別に挑戦してみましょう。各個体の個性や「けんかした後はすぐに仲直りする」といった彼らの社会行動にも気付くでしょう。(展示課主幹・久保隆)